

明神さま

祝 宇都宮市制百二十周年

宇都宮市は、恵まれた自然と古い歴史に支えられ、二荒の柱を中心に築えてきたまちです。このふるさとに誇りをもち、みんなの力で豊かな未来を築くため、市民の誓いを定めます。

宇都宮市民憲章

- 一、健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 二、きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 三、学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。

特集

宇都宮市
市制

120周年と二荒山神社

宇都宮市の市制120周年を祝して

二荒山神社宮司 阿部 徳

宇都宮市が今年で市制120周年を迎えられました。まことにおめでとうございます。明治29年(1896)4月1日に市となった宇都宮は、その後第二次世界大戦の大空襲など多くの困難を乗り越え、現在は北関東随一の街として発展しています。大変にすばらしいことです。

歴史をひもつけば、宇都宮が二荒山神社を中心に発展してきたことがわかります。御祭神「豊城入彦命」は武の神様として多くの武人たちから篤く信仰されてまいりました。また商売の神様や火防の神様としての顔もあります。宇都宮が武人の街であるとともに商人の街、文化の街であったことが、そんなさまざまな信仰からも、よくわかるのではないのでしょうか。

別名「宇都宮大明神」とも呼ばれていたことから「明神さま」の愛称もいただいております。今回それを社報の名前とさせていただきました。これまで以上に、街と神社との関わりを深めていきたいと思えます。宇都宮の街には、さまざまな心のよりどころがあります。これからも、みなさまの心の大きな柱であるよう、二荒山神社の護持運営に務めて参りたいと存じます。

ごあいさつ

宇都宮市長 佐藤 栄一

神社広報初号の発行、誠におめでとうございます。

歴史ある二荒山神社の伝統ある行事を広く市民にお知らせいただく取組は大変すばらしいことであり、また、古くからの行事をこれまで守り伝えてこられた関係者各位の御尽力に深く敬意を表します。

さて、本年は宇都宮市制120周年を迎える記念の年に当たります。宇都宮市民憲章にもうたわれているように、「宇都宮市は、恵まれた自然と古い歴史に支えられ、二荒の森を中心に栄えてきたまち」であり、多くの人々が行き交い、集うまちとして繁栄し、持続的に発展してまいりました。まちの中心に位置する二荒山神社で開催される菊水祭、おたりや、天王祭などの伝統行事には多くの市民が参加し、まちなかが大いににぎわいを見せているところでもあります。この広報によりその歴史や文化に対する市民の理解が深まり、ふるさと宇都宮に対する誇りや愛着が更に高まることを期待するところです。

今後とも魅力あふれるまちとしてさらに発展するため、皆様の更なる御支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

明神様と宇都宮

二荒山神社におまつりしている神さまは、第十代の崇神天皇の第一皇子の豊城入彦命さまです。豊城入彦命は毛野国(現在の栃木群馬両県)を治められ、後に子孫により国を守る神として祀られました。

大昔は、今の下之宮がある辺りまで小高い山が続いており、始めはその先端に社が建てられ、今から千年以上前に今の場所に移されたといわれています。

宇都宮の地名の起りは、二荒山神社の別称である「宇津宮(宇都宮)」だとされています。「下野国一の宮」の「イチノミヤ」の読みが訛って「ウツノミヤ」となったという説が一般的です。

平安時代末ごろより藤原氏の一族が「宇都宮氏」を名乗り、この地を本拠地として治め、二荒山神社の神官を兼務しました。

東山道が通り、東北への護りの要所でもあることから、北関東の中心として栄え、江戸時代には多くの豪商が軒を連ね、経済でも文化面でも大きな力を持った町として発展してきました。

現在でも二荒山神社は地域の方々から「二荒さん」と愛称で親しまれており、旧市内にあたる地域は、神社から西側を上町、東側を下町と呼びならわしており、毎年のお祭りでは神さまの渡御行列をお出迎える会所が設けられています。



市制120周年・市町合併10周年
120年の感謝と絆 ともに未来を考え
いつまでも輝く うつのみや
UTSUNOMIYA CITY 2016

四季折々のまつり 年間祭典一覧

- 1月1日 歳旦祭
初詣講祈禱祭
元始祭
昭和天皇祭遙拝
市神社初市祭
松尾神社例祭
春渡祭(神輿渡御)
月次祭
永代太々神楽祈禱祭
月次祭
2月1日 市神社花市祭
節分日 厄難消除祈禱講祭
節分日 特別講員年男女女祭
紀元祭
祈年祭
月次祭
月次祭
3月1日 月次祭
月次祭
月次祭
4月1日 春分日 春季皇霊祭遙拝
月次祭
神武天皇祭遙拝
花会祭
東国御治定記念祭
昭和祭
29日
19日
11日
3日



永代太々神楽祈禱祭

- 5月1日 月次祭
田舞祭
月次祭
永代太々神楽祈禱祭
月次祭
東照宮社例祭
須賀神社例祭
市神社例祭
荒神社例祭
剣宮例祭
月次祭
大祓式
6月1日 月次祭
7月1日 月次祭
須賀神社天王祭
(神輿渡御)
月次祭
菅原神社例祭
月次祭
喜佐見分祠例祭
8月1日 月次祭
菅原神社例祭
月次祭
喜佐見分祠例祭
9月1日 月次祭
10月1日 月次祭
11月1日 月次祭
12月1日 月次祭
12月15日 月次祭
12月19日 月次祭
12月23日 月次祭
12月31日 月次祭
1月1日 月次祭
1月3日 月次祭
1月15日 月次祭
1月19日 月次祭
1月23日 月次祭
1月31日 月次祭



田舞祭

- 9月1日 月次祭
12月社例祭
15日 月次祭
19日 月次祭
秋分日 秋季皇霊祭遙拝
永代太々神楽祈禱祭
月次祭
神嘗奉祝祭
月次祭
例祭(秋山祭)
女体宮例祭
菊水祭
最終日 土曜日(流鏝馬神事)
10月1日 月次祭
10月15日 月次祭
10月19日 月次祭
10月21日 月次祭
10月22日 月次祭



例祭 稚児浦安舞

- 11月1日 月次祭
明治祭
月次祭
新嘗祭
月次祭
冬渡祭
(神輿渡御)
月次祭
12月1日 月次祭
12月15日 月次祭
12月19日 月次祭
12月23日 月次祭
12月31日 月次祭
1月1日 月次祭
1月3日 月次祭
1月15日 月次祭
1月19日 月次祭
1月23日 月次祭
1月31日 月次祭
1月1日 月次祭
1月3日 月次祭
1月15日 月次祭
1月19日 月次祭
1月23日 月次祭
1月31日 月次祭



おたりや

平成27年度 二荒山神社渡御祭礼会計

歳入の部		歳出の部	
科目	金額(円)	項目	金額(円)
氏子町会奉納金	2,326,040	天王祭祭礼費	2,039,978
祭礼協賛金	2,800,000	菊水祭祭礼費	2,740,921
神社補助金	2,500,000	冬春渡祭祭礼費	1,134,520
雑収入	132,332	事務費	259,333
繰越金(前年度より)	1,536,410	雑費	1,685,669
合計	9,294,782	合計	7,860,421

平成27年 お祭り報告

天王祭 祭典期間	7月15日(水)~20日(月) 6日間
親子神輿対面神事	7月18日(土) 参加28町会 31基
須賀神輿渡御	7月20日(月・海の日) 上町一下町
菊水祭 鳳輦渡御 及び 流鏝馬神事	10月24日(土) 上町 10月25日(日) 下町
おたりや 冬渡祭神輿渡御 春渡祭神輿渡御	平成27年12月15日(火) 下町一上町 平成28年 1月15日(金) 上町一下町

七月

天王祭

15日(金)～20日(水) 6日間



7月16日(土) 午後6時 親子神輿対面神事
(城址公園出発)

7月17日(日) 午前 神輿渡御(下町地区)
午後 神輿渡御(上町地区)

和みで
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

しくお願い致します。

十月

菊水祭

29日(土) 下町渡御
30日(日) 上町渡御

2日間



宮のにぎわいが復活! 「桃太郎山車」

明治時代に作られた南新町の「桃太郎山車」が、市民の皆さまの力で復活しました。この山車は、大正時代まで菊水祭で巡行されてきましたが、その後は失われてしまいました。一昨年に「火焰太鼓山車」を復活させました市民グループ「宮のにぎわい 山車復活プロジェクト」が取り組み、今年ついに完成した桃太郎山車。菊水祭では2つの山車が巡行し、秋の宇都宮を華やかに盛り上げてくれるでしょう。



復活した桃太郎山車の勇姿

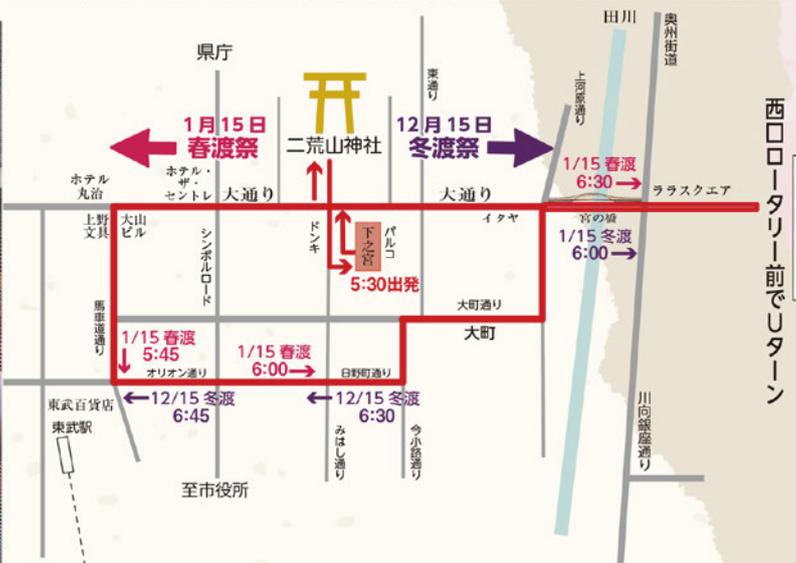


火焰太鼓山車

十二月

冬渡祭・春渡祭

冬渡祭 平成28年12月15日(木)
春渡祭 平成29年1月15日(日)



和みで
愉快だ
宇都宮

渡御のお出迎えよろ

渡御とは…

普段は社深くお鎮まりになっている神様が御神輿にのってお出かけることになることです。お手を合わせて拜んでお迎ください。



流滴馬神事 29日・30日両日、鳳輦出御前及び帰還後の2回行います。

ご協賛ありがとうございます。

渡御祭礼協賛者芳名(敬称略)

●(有)福勝不動産 ●松本スポーツ
 服装店 ●ホテル丸治 ●桜大谷通
 里自治会小笠原正謹 ●清水明 ●
 大和証券(株)宇都宮支店 ●(株)常陽銀行宇都宮支店 ●野村證券(株)宇都宮支店 ●馬場通り宝くじ
 ボックス高山忠男 ●玄賢 ●下野印刷(株) ●(株)栃木銀行馬場町支店 ●(株)東邦銀行宇都宮支店
 ●(株)トナー ●北関東 ●宇都宮東武ホテルグランデ ●昭和商事(株) ●(株)竹石ビル ●宇都宮証
 券(株) ●印出井齒科医院 ●秋山塗工(株) ●(株)福田屋百貨店 ●(株)大湖 ●大和食品(株) ●(株)福田機械
 店 ●(株)山本損保プロ保険サービス ●(株)江田総合保険 ●(有)鈴木電気 ●関根則次公認会計士事
 務所 ●合資会社花久 ●福田勝美 ●(有)福田コーポレーション ●(株)佐藤 ●(株)額縁白木屋 ●(有)
 料亭明治屋 ●大谷通り桜会 ●ゆたか陶器 ●荒井一郎 ●高橋勝男 ●中山剛夫 ●時計宝石タケ
 カワ ●(株)足利銀行宇都宮支店 ●フタバ食品(株) ●医療法人至誠会滝澤病院 ●鳥山信用金庫 ●
 栃木トヨタ自動車(株) ●三井生命保険(株)宇都宮統括営業所 ●(株)ユニオン上野 ●(有)シンガイ写
 真館 ●(株)信用金庫 ●(有)長瀬文具店 ●(有)堺屋商店 ●(有)長岡工業 ●宇都宮グランドホテル ●
 稲葉勉法律事務所 ●(有)ラッキーデザイン ●あいおいニッセイ同和損害保険(株)栃木支店 ●三
 栄不動産(株) ●勝田亨 ●鈴木久子 ●國府田マサ子 ●片寄トヨ ●照井栄子 ●鈴木洋子 ●増田安
 雄 ●池田節子 ●(有)板倉美容院板倉富子 ●森ミサ子 ●(有)シルバード大橋伸 ●長谷川時計店 ●石
 崎靴店 ●ビューティーサロンモード ●三条町北部祭事運営委員会 ●千歳工業 ●奥村税務会
 計事務所奥村正 ●塩井庸次 ●北関東総合警備保障(株) ●高橋税務会計事務所高橋裕樹 ●国仲
 総合貿易(有)神戶俊輔 ●銀座齋藤千代子 ●パークラック柿沼典克 ●割烹吉本 ●廻谷賢二 ●田
 舎料理水月柿沼英雄 ●(有)齋藤石材店齋藤充 ●(株)五光宇都宮店 ●(株)博報社 ●(株)塚メディカル
 クリニック富塚浩 ●(株)ケーエフシー神戶健弥 ●あら玉 ●(株)栃放エンタープライズ ●後藤孝
 子 ●割烹柏 ●齋藤商事(株) ●野沢秀熙 ●(株)堀井 ●割烹弁当の新一 ●(株)釜昌 ●銘茶関口園 ●(株)
 パルコ宇都宮店 ●協同組合宇都宮餃子会 ●宇都宮みんみん ●(株)釜昌 ●銘茶関口園 ●(株)
 医療法人中山会宇都宮記念病院 ●黒崎歯科医院 ●パプ秀佐々木秀子 ●(有)鳥居薬局 ●(株)稲子商
 店 ●メガネサロンサカモト ●ホテルニューイタヤ ●(有)野野孝商店 ●手塚耳鼻咽喉科 ●(有)丸
 伊呉服店 ●(株)新三鈴木淑子 ●(株)小名浜包装資材 ●山二クリーニング ●(有)上野裕司 ●(株)池田亀
 次郎商店 ●古宮酸素(株) ●(株)町田建塗工業 ●(株)須山液化ガス ●大津屋ビル(株) ●青源味噌(株) ●
 アサヒビール(株)栃木支店 ●割烹うのぶ ●(株)魚よし ●花正 ●(株)虎屋本店 ●(株)仁科商店 ●(有)オ
 リオン商事 ●(株)井上総合印刷 ●(株)渡辺有規建築企画事務所 ●渡辺建設(株) ●東野交通(株) ●栗
 田工業(株) ●(株)タイドードリンコサービス ●関東宇都宮営業所 ●四季彩葉虎屋弥生 ●(株)ロココ
 企画装飾 ●群馬銀行宇都宮支店 ●(有)オートライフ栃木 ●割烹中村 ●(株)シノザキ ●小谷野儀
 ●(株)水戸設備工業 ●(株)トナー ●ホテルサンルート宇都宮 ●合名会社つちや ●宇都宮ス
 テーションホテル ●(有)森川衣裳店 ●(株)鱒湖建設 ●宇都宮卸商業団地協同組合 ●(株)竹石紙店
 ●(株)辻由 ●(株)横倉本店 ●(株)木小松フォークリフト(株) ●(株)リコージャパン(株) ●(株)増淵組 ●宇都
 宮商工会議所 ●(株)宮本印刷 ●小花塗装(株) ●タカタコーポ高工正三 ●(有)アサヒ商事 ●(株)三和
 青果 ●おでんのんき ●カフェドオリーブ ●中村次郎 ●(株)コアミ計測器 ●マスター商事(株) ●
 (有)松村 ●(株)大貫商店 ●(株)渡清 ●高林堂

一荒山神社氏子町会上町

旭町湖南自治会 ●旭二丁目中央自治会 ●伊賀町北部自治会 ●池上町自治会 ●泉町自治会 ●一・一自
 治会 ●一条町二丁目自治会 ●一条三丁目自治会 ●一条四丁目自治会 ●歌橋町自治会 ●江野町自治会 ●
 和尚塚南部自治会 ●和尚塚二丁目自治会 ●小幡町東部自治会 ●小幡町西部自治会 ●小幡町北部自治会 ●
 小幡町南部自治会 ●河原町自治会 ●北一の沢鶴荘自治会 ●清住町自治会 ●小伝馬町自治会 ●寿町
 自治会 ●幸町自治会 ●境町自治会 ●桜通り自治会 ●桜大谷通り自治会 ●桜東自治会 ●桜二丁目自治会 ●
 ●西原西組自治会 ●三条町北部自治会 ●三条町南部自治会 ●三条町もみじ通り自治会 ●材木町通り協
 和会 ●材木町中央自治会 ●材木町五番自治会 ●昭和通り自治会 ●新川自治会 ●新石町自治会 ●杉原尾
 上町自治会 ●住吉陽西通り自治会 ●滝谷町自治会 ●滝谷町東部自治会 ●滝谷町西自治会 ●大寛一丁目
 自治会 ●大寛二丁目自治会 ●大寛三丁目自治会 ●大寛三丁目南部自治会 ●大黒町自治会 ●中央北
 部自治会 ●中央二丁目中部自治会 ●鉄砲町自治会 ●伝馬町自治会 ●戸祭西部自治会 ●戸祭二丁目自治
 会 ●戸祭元町自治会 ●戸祭地区四丁目自治会 ●中戸祭一区自治会 ●中戸祭二区自治会 ●錦町一丁目自
 治会 ●二里山自治会 ●二条町北部自治会 ●西塙田北部自治会 ●西原川向自治会 ●西原佐野街道自治会 ●
 ●西原十三町自治会 ●西原太子町自治会 ●西原仲町自治会 ●吉野町自治会 ●西原本町自治会 ●西原末
 広町自治会 ●西原六道町自治会 ●西大寛中組自治会 ●西大寛本町自治会 ●熱木親交会 ●花園西部自治
 会 ●花房本町自治会 ●花房一丁目自治会 ●西塙田本通り自治会 ●馬場町自治会 ●挽路睦会 ●不動前三
 丁目睦会 ●蓬萊町自治会 ●星が丘川西自治会 ●曲師町自治会 ●松原自治会 ●松原通り自治会 ●松原一
 丁目東部自治会 ●松が峰自治会 ●操町北部自治会 ●南伊賀町自治会 ●南新町上組自治会 ●南新町下組
 自治会 ●宮園町自治会 ●茂登町自治会 ●陽南東部自治会 ●四条町上組自治会 ●四条町中組自治会 ●
 ●四条町南部自治会 ●星が丘西部自治会 ●本郷睦会 ●下戸祭一丁目自治会 ●下戸祭二丁目自治会 ●戸
 祭町自治会
 下町
 ●相生町自治会 ●旭三の丸自治会 ●本丸西部自治会 ●旭南自治会 ●旭町一丁目北部自治会 ●旭町本丸
 自治会 ●旭二南館自治会 ●今小路自治会 ●今泉町自治会 ●大町自治会 ●扇町自治会 ●大曾二区自治会 ●
 ●大曾三区自治会 ●大曾西町自治会 ●小門町自治会 ●押切町自治会 ●小田町自治会 ●御蔵町自治会 ●
 川向一丁目自治会 ●川向二丁目自治会 ●川向三丁目自治会 ●川向四丁目自治会 ●川向五丁目自治会 ●
 川向六丁目自治会 ●上河原自治会 ●河原町龜井が丘自治会 ●旭栄町自治会 ●石町自治会 ●小袋町自治
 会 ●宿郷町一丁目自治会 ●宿郷町二丁目自治会 ●宿郷町三丁目自治会 ●宿郷町四丁目自治会 ●宿郷町
 五丁目東自治会 ●宿郷町六丁目西自治会 ●八日市場自治会 ●下河原町自治会 ●清水町自治会 ●新宿町
 自治会 ●千手町自治会 ●大工町自治会 ●二の丸(中央三丁目)自治会 ●寺町自治会 ●天神町自治会 ●
 中河原町自治会 ●中河原一丁目自治会 ●中塙田自治会 ●八幡山自治会 ●塙田百目鬼自治会 ●東塙田一
 区自治会 ●東塙田二区自治会 ●塙田三区自治会 ●東塙田四区自治会 ●東塙田五区自治会 ●東塙田六区
 自治会 ●東塙田七区自治会 ●平松町自治会 ●日野町自治会 ●二荒町刺宮自治会 ●本丸東部自治会 ●峰
 第一自治会 ●峰町三区自治会 ●宮島町自治会 ●宮町(一区)自治会 ●元石町自治会 ●築瀬二丁目上組
 自治会 ●築瀬旭陵通り自治会 ●築瀬三丁目自治会 ●築瀬四丁目自治会 ●築瀬五丁目東自治会 ●築瀬五
 丁目西自治会 ●築瀬六丁目自治会 ●築瀬七丁目東自治会



株式会社 銘茶 関口園

日本茶の香りと味わいを届ける老舗

社のおひざもとで、明治15年以来「宮っ子」に親しまれて来た、日本茶の「銘茶関口園」。いつも笑顔を決やさない関口和良さんと4代目になります。

「亡くなった祖父は神社の総代を務めていましたし、店も商店街も、神社にはずっとお世話になってきました」と話す関口社長は、現在みこし保存会の第3代会長でもあります。

店内には、木製の広いテーブルやカウンター、椅子なども用意。



▲お勤めのお茶「天下一」「八女茶」
を手に笑顔の関口和良社長

そこで人気のソフトクリームを、ゆっくりと味わうお客様の姿も見られます。

近年は、若い人の日本茶離れも目立ちます。お茶の淹れ方を知らない人も珍しくないとのこと。多くの人にお茶の本当のおいしさを知ってもらえるよう、工夫や努力が欠かせないと、関口社長は言います。これからも「神社の隣りのお茶屋さん」として、宮っ子の「いやしのひととき」を支えてください。

住所 宇都宮市馬場通り 4-1-1 うつのみや表参道スクエア 1 階
TEL 028-622-3394
FAX 028-627-1809
HP <http://www.sekiguchien.co.jp/>

株式会社 横倉本店

宇都宮に育まれた、創業140年の歴史

来年、創業140周年を迎える株式会社横倉本店。初代・横倉正吉氏が干手町（現在の宮島町十文字南西部あたり）に酒店を開いたのが始まりです。その後、酒卸業を始め、大きく飛躍しました。昭和47年（1972）に問屋町へ移転し、今では県内外に広く顧客を持っています。

五代目にあたる横倉正一社長は、今でも二荒山神社の前に来ると、足を止めていていねいにおじぎをします。「母が必ず、神社に向っておじぎをしていました。それを見て育った私も、自然に身につきました」と顔をほころばせる横倉社長。宇都宮の町に育てられた会社ならではのエピソードですね。

酒卸だけでなく、自社商品にも積極的な同社。平成21年（2009）に発売した「宇都宮カクテル」は、最近新作も追加され、広く人気を博しています。県産原料にこだわった「宮の味」。宇都宮の会社ならではの酔い心地、ぜひ味わってください。



▲「宇都宮カクテル」と横倉正一社長

住所 宇都宮市問屋町 3172-6(本社)
TEL 028-656-7777(代)
FAX 028-656-8888
HP <http://www.yokokura-uc.jp/>

中埴田自治会



▲中埴田自治会長 池田恵樹さん

「昔は、宇都宮の街は二荒山神社が北限で、このあたり（埴田地区）は埴田村だったらしいですよ」と話す、中埴田自治会会長の池田恵樹さん。埴田地区の氏子代表の1人として、昨年からは渡御に加わっています。「みこし保存会内の埴田睦会として、若い頃から神輿の担ぎ手で参加していました。だから、関係は長いんです」氏子として列に加わるために、生まれて初めて紋付羽織や袴を用意したという池田さん。「和服の良さを改めて感じます。いいものですね」と笑いながら話します。埴田には埴田八幡宮があり、土地の氏神様として長く信仰を集めています。この宮司は、二荒山神社の宮司が兼任しています。どちらの神社にも末社として須賀神社があります。池田さんは「もとは一つの須賀神社だったものが分かれて、今の形になったのかも知れませんね」と言います。

宇都宮の中心部にある中埴田自治会。商売を営んでいるところも多く、池田さんも株式会社池田亀次郎商店として県庁前通り沿いで内装・インテリアの会社を営んでいます。創業は明治元年（1868）の老舗で、もともとは材木屋さんだったのが、先代社長が内装を始めて現在に至っているとのこと。

池田さんは、お祭りの楽しさを「人と出会えること」だと言います。「仕事や日常生活では出会えない人と知り合いになれるのが、いちばん嬉しい。地元の人でも、ふだんはそれほど深い付き合いがない方もおられますから。祭りをきっかけに関わりができていくのが、楽しいですね。二荒山神社のお祭りにはたくさんの方が来ますから、人のつながりも広がっていきますよ」



ふたあ

かわら版

3人制バスケットボール 7月に宇都宮で世界大会を開催!!

3人制バスケットボールの世界大会「FIBA 3×3 World Tour Utsunomiya Masters」が7月30、31日の両日、二荒山神社とパンパ市民広場を会場に開かれることが決まりました。



宇都宮市と防災協定を締結

平成28年3月15日に宇都宮市と防災協定を締結しました。

二荒山神社の境内が、災害が発生した直後、身の安全を守るため避難・待機する「一時避難場所」に指定されました。ご家庭でも非常時の備えを心がけましょう。



古峯神社 石原奈央子権禰宜 オリンピック日本代表決定 おめでとうございます

日本クレイ射撃協会は、女子スキートの石原奈央子選手（古峯神社）をリオデジャネイロ五輪代表に決めました。

アジア予選の同種目で1位になって国別出場枠を獲得しており、初の五輪代表となりました。

同協会によると、この種目で日本女子の五輪出場は初めて。石原選手の父、敬士さんは1980年モスクワ五輪代表に選ばれましたが、日本が参加をボイコットしたため出場できませんでした。



夏越の大祓式

6月30日（木）午後3時から、夏越の大祓式を斎行いたします。元来夏を無事越すための祓いの行事として行われていた夏越の大祓。新暦となった現在では、夏迎えの神事として定着し、茅で作った「茅の輪」をくぐる行事が各地で見られます。

半年間の罪穢れを人形に託して祓いの神事を行い、参列の皆様と「茅の輪」をくぐり、無病息災を祈願いたします。



きつかもんかんぐんき —菊花紋官軍旗について—

この二種類の旗は、戊辰戦争の際に用いられたものと思われ、栃木県立博物館の調査により、二荒山神社に所蔵されていることが確認され、市制120周年企画展「宇都宮藩主戸田氏一—その歴史と文芸—」に展示したものである。

菊花紋官軍旗は、菊紋を描いた旗で、朝敵を征伐する官軍の標章として用いられた。

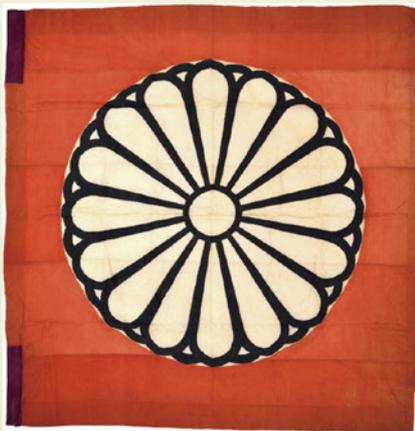
菊御紋紅大四半は、紅色の絹の中心に墨で菊紋が描かれ、旗の片端は紫色の皮で補強される。資料の箱書には会津征討で用いられたとあり、付属の書付には「野津参謀奉納」とみえる。野津は、宇都宮城攻防戦などにも従軍した薩摩藩の野津鎮雄・道貫兄弟と考えられる。

白生絹御紋之旗は墨で菊紋が描かれ、上部には金具の輪が2つあって吊れるようになっている。資料の箱書には「招魂社宝器」とあり、箱裏にはこの旗を「宇都宮及び諸所の戦争に用いた」と記され、付属の書付には「宇都宮藩奉納」とある。

両資料とも、会津戦争の後、宇都宮招魂社に奉納されたものと思われる。



（白生絹御紋之旗）332.4cm×58.9cm



（菊御紋紅大四半）164.8cm×154.9cm